

2009年証券アナリスト基礎講座修了試験の結果について

2010年3月10日
 (社) 日本証券アナリスト協会

1. 証券アナリスト基礎講座修了試験は、2008年4月より通年実施に変更し約2年が経過しましたが、2009年4月から12月までの9ヵ月間の試験結果は次のとおりになりました。なお、受講者数、受験者数、合格者数、合格率とも前年度に比べ減少ないし低下していますが、通年化実施前に比べるとかなり上回る水準にあります。

	2009年4月～12月試験 (通年化2年目)	2008年4月～2009年3月 試験 (通年化1年目)	2007年6月・12月試験 (合計)
受験者数	525名	859名	321名
合格者数	461名	786名	239名
合格率	87.8%	91.5%	74.5%
受験者の 平均点	87.6点 (得点率73.0%)	92.2点 (得点率76.8%)	82.3点 (得点率68.6%)
合格最低点	69点 (得点率57.5%)	69点 (得点率57.5%)	69点 (得点率57.5%)
全問正解者	1名	6名	0名

2. 社内研修の一環として取り組んでいる大口受講先を除いた合格者の構成をみると、事業会社に勤める方々のウエイトが22% (2008年試験26%) と低下した一方で、学生は26% (同24%) に上昇、また、女性も36% (同25%) と大きくウエイトを高め、受講者層の広がりがかかわれる結果となりました。

合格者のうち最年長者は61歳、最年少者は19歳でした。なお、制度スタート以来の累計の受講者 (既合格者を含む) は7,366名 (2010年1月末現在) ですが、その内訳は事業会社に勤める方が21%、学生が13%、また女性34%を占めています。

3. 基礎教育委員会からのメッセージ

- ① 通年化2年目の基礎講座修了試験の結果は、大口受験があった前年度に比べると平均点、合格率がやや低下しましたが、通年化実施前に比べ改善をみており、これまでのペースを上回る学習成果が上がっているものと認められます。引続き、学習時間を確保するとともに集中力を持って基礎講座のカリキュラムを学んだ上で受験に臨むことを期待しています。
- ② 2009年12月までの基礎講座修了者2,106名中471名が証券アナリスト (CMA) 通信教育講座第1次レベルを受講し、119名が第1次試験に合格しています。このうち102名が第2次レベルに進み、うち29名が第2次試験に合格しています。このように基礎講座修了者がCMA通信教育講座に前向きに取り組んでいることは、大変喜ばしいことです。他の受講者の方々も速やかに基礎講座を修了してCMA通信教育講座第1次レベルに進まれるよう期待しています。

4. 最年少合格者の氏名とコメント

- ・菅野 雄太氏 (最年少合格者・19歳)

私は大学で証券投資に関する講義を受けていたので、定期試験対策の意味合いも込めて修了試験を受けました。基礎講座では、一人のビジネスパーソン、一人の社会人として必要な知識を包括的に学習できたように思います。個人的には、証券市場の注文駆動方式による取引執行が素直に理解できませんでしたが、知人の助けも借りて合格レベル以上の実力がついたと考えています。

今後も金融や経済の動向に注目しつつ、証券分野に限らず幅広い分野の学習を進めていきたいです。

・登石 知平氏（最年少合格者・19歳）

証券アナリスト基礎講座を受講したことで、大学で学ぶ経済・金融の講義の内容をより深いレベルで理解することが出来ました。特にテキストはわかりやすく、練習問題が多く掲載されているので、苦手な計算公式を覚えることも苦に感じませんでした。

これからは、次のステップである証券アナリスト一次試験に向けて勉強し、在学中に多くの専門的な知識の習得に励み、将来に生かしていきたいです。

以 上